

## キャタピラー(CAT)

### 大規模インフラ投資「米雇用計画」の下、輸送部門インフラ整備予算に伴う中長期的な建設需要の恩恵を期待

#### ニューヨーク | 建設・鉱業用機械 | 業績レビュー

BLOOMBERG CAT:US | REUTERS CAT.N

- 2021/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比11.8%増、純利益が同40.1%増と、7四半期ぶりの増収、5四半期ぶりの最終増益。
- 建設産業、資源産業、エネルギー・輸送の主要3事業セグメントが増収に転じたほか、金融商品セグメントも増益となった。
- 8年間に及ぶ大規模インフラ投資の「米雇用計画」において輸送部門インフラ整備予算に伴う中長期的な建設需要の恩恵が期待される。

#### What is the news?

4/29発表の2021/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比11.8%増の118.87億USD、純利益が同40.1%増の15.31億USD。世界的な経済成長を受けて、7四半期ぶりの増収、5四半期ぶりの最終増益となった。中国や南米での需要回復を受けた主力の建設産業を含め、資源産業、エネルギー・輸送の主要3部門がいずれも増収に転じた。

事業セグメント別の売上高は以下の通り。①建設機械などを取り扱う「建設産業セグメント」は前年同期比26.8%増の54.59億USD。内、アジア太平洋が同71.7%増、ラテンアメリカが同47.9%増、欧州・アフリカ・中東(EAME)が同21.6%増、北米が2.0%増と全地域が増収となった。②鉱山機械などを取り扱う「資源産業セグメント」は同6.3%増の22.16億USD。内、ラテンアメリカが同26.6%増、EAMEが同20.0%増と増収に寄与した。ディーラーの在庫積増しと設備・修理用部品の需要増が増収に寄与した。③エネルギー・輸送セグメントは同3.6%増の45.07億USD。内、EAMEが同3.8%増、ラテンアメリカが同2.8%増、北米が同2.5%と増収に寄与。石油・ガス、および発電機向けが増加した。④金融商品セグメントは同6.5%減の7.61億USD。平均融資金利の低下および平均収益資産残高の減少が響いた。一方で、クレジット損失へ引当金繰入額の減少によりセグメント利益は同2.3倍と堅調に推移した。

#### How do we view this?

同社CEOは想定を上回るペースの市況回復とともに中国の建機需要の伸びを強調。一方で、コロナ禍や半導体不足、原材料上昇などの需要や生産への影響が読めないとして2Q(4-6月)の業績予想開示を見送った。

米バイデン政権は、「米雇用計画」について当初の規模(2.25兆ドル)を縮小した譲歩案を5/25に共和党に提示。交渉が頓挫していたなか、超党派上院議員団で調整を続け、6/24に合意に至ったとの声明を発表。合意案では輸送部門インフラ整備と非輸送部門インフラ整備で合計5,780億ドルが新規支出として充てられるほか、同分野で毎年度支出される分と合わせた支出規模は8年間で約1.2兆ドルにも及ぶとしている。その内、道路・橋梁整備プロジェクトが1,090億ドル、公共交通整備が490億ドルを占めており、同社はその建設需要の恩恵を受けやすいだろう。

#### 業績推移

※参考レート 1USD=110.63円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万USD)	54,722	53,800	41,748	47,042	52,676
当期利益(百万USD)	6,147	6,093	2,998	5,179	6,296
EPS(USD)	10.26	10.74	5.46	9.29	11.62
PER(倍)	20.97	20.04	39.41	23.16	18.52
BPS(USD)	24.39	26.52	28.11	26.82	27.56
PBR(倍)	8.82	8.11	7.66	8.02	7.81
配当(USD)	3.36	3.95	4.12	4.36	4.70
配当利回り(%)	1.56	1.84	1.91	2.03	2.18

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD) **4.38** (予想はBloomberg)  
 終値(USD) **215.19** 2021/7/13

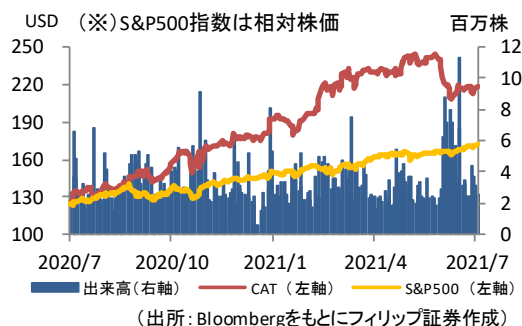
#### 会社概要

1925年設立の多国籍企業。建設機械および鉱山機械、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、産業用ガスタービン、ディーゼル電気機関車の分野における世界有数のメーカーである。

同社の事業セグメントは、①ブルドーザー、コンパクター、モータグレーダー、スキッドステアローダー、履带式ローダー、ダンプトラックなどの製品を取り扱う「建設産業」、②油圧ショベル、ミニ油圧ショベル、ホイールローダー、土工用振動ローラを取り扱う「資源産業」、③エンジン・発電機、環境リサイクルなどの「エネルギー・輸送」の主要3セグメントを通じて事業を展開するほか、④「金融商品」のセグメントを通じて、オペレーティングおよびファイナンスリース、割賦販売契約、運転資金ローン、ホールセール・ファイナンスを提供する。

#### 企業データ(2021/7/13)

ベータ値	0.93
時価総額(百万USD)	117,878
企業価値=EV(百万USD)	117,215
3か月平均売買代金(百万USD)	726.0



#### 主要株主(2021/7)

1.VANGUARD GROUP	8.45
2.ステート・ストリート	7.47
3.ブラックロック	6.29

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。